

上田仮説サークルニュース		11月例会	2016. 11号
編集責任 遠藤 裕		発行2016. 12. 17	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サカゲン中野 B-G TEL 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115			
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 長野工業高校 TEL 026-227-8555			

11月26(土) 上田市中央公民館 3F第1・第2会議室
午後3:00～8:30



参加者数7名 資料総ページ 60 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 北村秀夫さん, 北村知子さん,
池田みち子さん, 高見沢一男さん, 遠藤裕

はじめに 11月例会の参加者は7名。

レポートは、柳沢さんから2本、増田さんから2本、高見沢さんから1本の合計5本の発表がありました。

柳沢さんは、読書メモで6冊の本を紹介してくれました。『元検事が明かす「口の割らせ方」』(大澤孝征著), 『英語の帝国—ある島国の言語の1500年史—』(平田雅博著)は詳しくレポートされています。

増田さんの<今月の書評13>は今回も32ページにもおよぶもの。仮説実験的に古代人の<心情の変化>を語っている『多神教と一神教—古代地中海世界の宗教ドラマ—』(木村凌二著)の紹介。<渡辺:今月のお話6>は、サークルでも時々話題になる<コモン>についての渡辺さんの講演でのお話の紹介。

発表後、柳沢さんがソルベー法(アンモニア-ソーダー法)についての講義をしてくれました。反応式では $2\text{NaCl} + \text{CaCO}_3 \rightarrow \text{Na}_2\text{CO}_3 + \text{CaCl}_2$ と表され、塩化ナトリウムと炭酸カルシウムから炭酸ナトリウムと塩化カルシウムができる反応です。式をみただけでは単純そうな反応式のように見えますが、自然には起こるはずのない反応。ソルベーが工業化した炭酸ナトリウムの製造法。5つの反応を組み合わせると目的の反応式が得られる。単純な式の裏には、雄大な化学工業の世界が広がっているようです。

終了後は、大戸屋で夕食。

1. 発表資料

① サークルニュース 10月例会 遠藤 裕 (6ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 9月例会 遠藤 裕 (9ペ)
- ② <今月の書評12> 増田伸夫さん(32ペ)

〔書評〕 ユダヤ人の9割は改宗したカザール人だった！？

③ <渡辺：今月のお話5> 増田伸夫さん（8ペ）

「仮説実験的認識論」の起源

－板倉認識論と東大自然弁証法研究会－ 渡辺規夫

④ 読書メモ2016年 9・10月 柳沢克央さん（8ペ）

－秋山千佳『ルポ保健室』ほか－

② 読書メモ2016年 10・11月 柳沢克央さん（8ペ）

－大澤孝征著『元検事が明かす「口の割らせ方」』ほか－

柳沢さんが10月、11月に読んだ本の紹介。

◇はじめに

いつもの「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく（適当に）おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。

（私物）と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

◇読書記録または読書メモ（順不同）

◎大澤孝征著『元検事が明かす「口の割らせ方」』（小学館新書・2016年）（私物）

◎中川右介著『怖いクラシック』（NHK出版新書481・2016年）

◎養老孟司著『「自分」の壁』（新潮新書576・2014年）

◎太田肇著『個人を幸福にしない日本の組織』（新潮新書656・2016年）

◎平田雅博著『英語の帝国－ある島国の言語の1500年史』（講談社選書メチエ633・2016年）（私物）

控えめに書かれているが、著者の問題意識は将来の日本の存立自体にもかかわる大きなものだと感じた。

英語教育はあくまで自分たちのために主体的に行うものであって、「グローバル化」なるものに対応するために行うという受け身の姿勢ではいけないのだと私は強く感じた。残念ながら現在の文部科学省には歴史的・戦略的な視点から自国民のための教育政策を立案するという姿勢・能力ともに欠けていると言わざるを得ない。読者が自覚をもって英語教育をはじめとする学校教育をどうしたらよいか考えることが必要のようである。

◎白洲正子著『ほんもの－白洲次郎のことなど－』（新潮文庫2016年）（私物）

◇まとめ

今回も電車の中でもいつも通り読み進めることができたが、週末と祝日の消化・執筆

の割合が大きかったような気がする。

最も興味深く読んだのは大澤孝征著『元検事が明かす「口の割らせ方」』(小学館新書・2016年)だった。この本を読みながら電車に乗っていると、目的地に着くまでの時間があっという間であった。電車の中というのは読書に集中できる環境が整っていると思った。

(終) 2016年11月23日(祝日)脱稿。

(『元検事が明かす「口の割らせ方」』は、生徒指導をする教師はこの本を読んでおいた方がいいと柳沢さん。「実にささいなことで、人は変わるものなのだ」と私も驚きました」とあるように、いろいろな実例が載っている本ようです。全体の雰囲気はカーネギーの『人を動かす』と共通しているとのこと。 エンドリ)

③ 紹介 「なぜ安倍政権は勝ち続けるのか？」 柳沢克央さん (4ペ)

内田樹氏のブログ「内田樹の研究室」からの引用紹介。

内田樹(うちだたつる、1950年9月30日-)は、日本の哲学研究者、コラムニスト、思想家、倫理学者、武道家、翻訳家、神戸女学院大学名誉教授。京都精華大学人文学部客員教授。合気道凱風館館長。

東京大学文学部卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科修士課程修了。学位は修士(東京都立大学・1980年)。合気道七段、居合道三段、杖道三段。

専門はフランス現代思想だが、取り上げるテーマはユダヤ人問題から映画論、武道論まで幅広い。(以上、ウィキペディアによる)

<内容の一部の紹介>

「なぜ安倍政権はこれほど勝ち続けているのか？」

.....

私の解釈はこうだ。国益が損なわれ、国民が日々損害を被っているにもかかわらず、「トップをすげ代えろ」という声が上がらないのは、総理大臣の適格性を最終的に判断しているのは「自分たちではない」と国民が思っているからである。

残念ながら、日本において、統治者の適格性を判断しているのは有権者ではない。

私たちは自分たちの選挙区から議員を選ぶことはできる。でも、統治者を選ぶことはできない。

日本の指導者を最終的に決めるのはアメリカである。

.....

*

上記のコラムは内田氏にしか書けない卓見であると思い、紹介することにした。日米の要は二重権力構造である。すなわち、学校教育に喩えるならば「学校長≒米国大統領、

生徒会長⇌日本国首相」に相当する支配－従属関係がある。この図式を意識化しておくことには意義があるはずだ。18日のネットおよび新聞・ラジオ等の報道によれば、安倍晋三氏はトランプ氏らによる「オーディション」に「合格」したように見える。さて、沖縄米軍基地問題や原発問題ではどのような展開が見られるだろうか。(柳沢)

(アメリカの大統領がドナルド・トランプ氏になったとき、日米関係がどのようになっていくのか、これから注目していきたいと思います。 エドワ)

④ <今月の書評13>

増田伸夫さん(32ペ)

[書評] <心性の変化>から一神教への変貌を読み解く

☆木村^{りょうじ}凌二著 『多神教と一神教 ―古代地中海世界の宗教ドラマ―』
(岩波新書) 定価: 本体760円(税別)

(2005年9月21日第1刷発行 2015年6月25日第8刷発行)

著者は東京大学教授(古代ローマ史) 著書に『ローマ人の愛と性』『優雅でみだらなポンペイ』(以上講談社), 『暗闇のローマ世界』(東京大学出版会) などがある。

問題の予想を立てながら読む書評。問題は17問、質問が6つあります。

*

前回読んだケストラー『ユダヤ人とは誰か』では、世界の各地で「多神教から一神教への変化(法則性のようなもの)が見られた」と感じた。ならば、<多神教から一神教へはどのように変化していったのか>が気になるところだ。本書には古代地中海世界の「多神教から一神教への変貌」が、人々の<心性の変化>をもとに興味深く語られている。

そこで、今回も設問方式で本書の内容紹介を試みたい。(答えが見えないように工夫して) おつきあいください。

さてさて、本書の内容を一言でいえばどうなるだろう。「大いなる空想をともなう仮説とともに、古代人の<心性の変化>に注目することではじめて、多神教から一神教への変貌が分かるのだ」ということになるだろうか。

そして、筆者が言う本書の主題(前1000年ごろを境にして古代人の心性も大きく変化している。そこにはいったい何が起こったのか、それとともに一神教への道が開くのはなぜなのか)に対する答えは、「古代の人々は神々の声を聴いていた。しかし、しだいに<神々の声>が聞こえなくなってしまったために自分の<内なる世界>を見つめ、道徳的生活を求めるようになったことで心性が大きく変化した。それが一神教への道を開いた。また一神教崇拝の要因としては、<アルファベットの普及>と<危機と抑圧>が

考えられる」ということになるだろう。

また本書のもうひとつの主題と思われるのが、ヴィーナスにつらなる「イシス女神信仰」であるが、著者は「キリスト教は、女神イシスの信仰を聖母マリア信仰に読み替えていった節がある」と述べていて、とても興味深い。さらに密儀救済宗教としてのキリスト教における「洗礼」と「聖餐（パンとワイン）」の意味もよく分かったと感じた。

ところで、本書には「フロイト＝岸田仮説」「気象変動仮説」「二分心仮説」など、「仮説」という言葉が何度も出てくる。それから唯物論者ルクレティウスの名もしばしば登場する。さらには「実証史学」や「原子論的自然観」という言葉まで現れる。しかも「実証史学」に対してはやや否定的だ。

つまり著者は、（控え目ながらも）大なる空想を伴う仮説をもとに、仮説実験的に古代人の＜心性の変化＞を語っている。私にはそのように読めた。そこで、巻末の「主要参考文献」に板倉聖宣『原子論の歴史』あたりが載っていてもよさそうだと思って探してみたが、そこには載っていなかった。

巻末にはわずか5ページであるが「索引」がついていて、とても便利であった。「索引」の重要性を再確認できた。

本書は＜一神教の起源＞に対する私の問題意識に重要な知見を与えてくれた。良書であり、多くの方に読んでもらいたい本である。 (増田)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 「死すべき人間」と神々（メソポタミアの宗教①） | 13. 民族神から抜け出す宗教（オリエントの宗教） |
| 2. メソポタミア宗教の特徴（メソポタミアの宗教②） | 14. 古代ギリシャの宗教の特徴（ギリシャの宗教①） |
| 3. 古代エジプトの宗教の特徴（エジプトの宗教①） | 15. ソクラテスと宗教（ギリシャの宗教②） |
| 4. オシリス神とイシス女神の物語（エジプトの宗教） | 16. ヘレニズムの宗教の特徴（ヘレニズムの宗教①） |
| 5. アマトに従って生きる（エジプトの宗教③） | 17. 救済密儀宗教と宗教融合（ヘレニズムの宗教②） |
| 6. 最古の一神教とは？ | 18. 旧約聖書を読み解く（ローマにそそぐ宗教①） |
| 7. フロイトの仮説（エジプトの宗教④） | 19. 古代の人々の心の中（ローマにそそぐ宗教②） |
| 8. 遊牧民と半遊牧民（ヘブライ人の生活） | 20. |
| 9. ユダヤ教成立以前の宗教（シリア・パレスチナの宗教①） | 21. 密儀宗教キリスト教（ローマにそそぐ宗教③） |
| 10. 一神教運動（シリア・パレスチナの宗教②） | 22. キリスト教と女性原理（ローマにそそぐ宗教④） |
| 11. ヤハウェはどんな神？シリア・パレスチナの宗教③） | 23. イスラム教以前の宗教（ローマにそそぐ宗教⑤） |
| 12. 遵法精神に富む民族（シリア・パレスチナの宗教④） | 24. 多神教の神々と一神教の神が人々に求めたこと |

（増田さんは、この本は「仮説実験的に古代人の＜心情の変化＞を語っている」と書いています。仮説関係の方には是非おすすめの本のようです。 エントウ)

⑤ <渡辺：今月のお話6>

増田伸夫さん（8ペ）

コモン(common)のための運動

－牧衷運動論の有効性（1）－ 渡辺規夫

渡辺規夫さんの講演の紹介。

2015/6/7 瀬戸市文化センターにて
テーマ④「牧衷運動論の有効性」より テープ起こし・編集：増田伸夫

- ◇成功した4つの運動で掲げた方針の共通点
- ◇自己の利益のためか／自己犠牲で他人のためか
- ◇牧さんに教えてもらったコモン(common)概念
- ◇「コモン(common)のための運動」という選択し
- ◇コモンのために生きる

<あとがき>

渡辺さんの口から「コモン (common)」という言葉が出てきたとき、参加者の皆さんはまだよくわからなくて、質問が相次ぎました。「コモン」という言葉は、参加者の多くの皆さんにとって初めて聞く言葉なのですから、それも無理ないです。でも、渡辺さんの話が進むにつれて「コモン」に対する理解が深まっていきます（その様子は次回以降のお話をお読みいただければお分かりになるでしょう）。

渡辺さんが「コモン」概念に出会ったときの感動の大きさは、「<コモンという言葉／概念が使えるようになると、人生が変わる>と私は言いたい！」という渡辺さんの迫力ある言葉によく表れていると思いました。（増田）

（サークルでも渡辺さんはよくコモンということを書いていたように思います。最初意味がよく理解できませんでしたが、牧さんのお話や渡辺さんの解説を何度も聞いているうちに、徐々に理解できてきたように思います。人生のあり方や生き方を考えるとき基盤となる概念ということでしょうか。物理で言えば、運動を考えるときの「運動の法則」に相当するのかな？とも思います。 エンドウ

⑥ アンケート集計結果 高見沢一男さん（2ペ）

高校3年生の化学基礎の授業での「たのしかった実験」についてのアンケート結果の紹介。

3年生（男子5人、女子13人）の2単位の文転クラス。高見沢さんは、毎時間センター試験向けの化学基礎の演習をおこない、その中で10～15分間を実験にあてているいろいろやってきたとのこと。実験内容は下の表の①～⑮。

- ①自由電子が見えたなら（1円玉は電気を通すか 金の折り紙は通すか 鉛の圧着）
- ②半導体チェッカー（人間の体は電気を通すか）
- ③塩カル（氷を溶かす） 生石灰（発熱）
- ④ブタンの燃焼（試験管にライターのカスをを入れて火をつける）
- ⑤雲の発生（フラスコの中を減圧して雲を発生させる）
- ⑥エアーフレッシュ（マシュマロを入れると コーヒー缶を入れると）
- ⑦サイコロ ドラゴン（片目で見ると・・・）
- ⑧アメリカンクラッカー（2つの球をリズム良く打ち当てます）
- ⑨立体視によるまちがい探し（2つの絵を立体視で重ねてみると・・・）
- ⑩新聞紙の燃焼（新聞紙を燃やすと重くなる？それとも軽くなる？）
- ⑪地球のフーセン（直径1.3メートルの地球モデルで考えると、エベレストは？）
- ⑫皿回し（皿を回しました）
- ⑬信じれば見える（最後のキリストは見えましたか？）
- ⑭すっ飛びボール（バレーボールの上にテニスボールを乗せて落とすと・・・）
- ⑮アルミパイプ+磁石（アルミパイプの中をゆっくりと磁石が降下します）
- ⑯可聴音（老人には高い音が聞こえません）
- ⑰ハンガー回し（ハンガーに10円玉をのせて回転させます）
- ⑱ニンジン（つり合ったところで2つに切ったニンジンは同じ重さか？）
- ⑲おだんごパズル（おだんごを組み合わせるとピラミッドの形を作ります）
- ⑳マッチ箱の実験（重いものは上にしたほうが軽く感じます）
- ㉑ブドウ糖（速効でしたか？）
- ㉒トルネード（ペットボトルで渦を作りました）
- ㉓補色（じっと見つめて目を閉じると違う色が見えてきます）
- ㉔スペクトロスコープ（蛍光灯の種類の違いがわかります）
- ㉕1秒の振り子（5円玉で作った2.5cmの振り子）

<アンケート集計結果> 18人

「楽しかったと思う実験」を選んでもらった集計結果。

1位	信じれば見える	17票	8位	雲の発生	12票
2位	サイコロ ドラゴン	15票		アメリカンクラッカー	
	皿回し			地球の風船	
	おだんごパズル			ニンジン	
5位	エアーフレッシュ	14票		ブドウ糖	
	アルミパイプ+磁石			トルネード	
7位	ハンガー回し	13票		補色	
				1秒の振り子	

<生徒さんの感想より>

- ・何をするにしても勉強しかない私たちにとってとても楽しい時間でした。
- ・実験が毎回面白くて、授業を楽しみにしていました。演習より楽しみに待っていたのは、受験生として恥ずかしいかもしれませんが・・・(笑)。また自分に合ったペー

スで問題演習が進められたのでとても良かったです。

- ・授業のあいだに実験ができて楽しかったです。私はですが、少し難しい範囲の問題などの解説があったらよかったなと思いました。
- ・他の授業ではただ座って授業を受けるだけなので、化学基礎の実験は活動ができる分とても楽しくて、自習も割と好きですが、みんなのできる実験はもっと好きでした。化基のある日が楽しみでした。
- ・沢山の実験ができて楽しかったです。いっぱい食べ物ももらって、ごちそう様でした。普通に化学を受けていたら何もかも経験できなかったので大満足です！今後もよろしくおねがいします。
- ・勉強の間に楽しんでできたのでよかった。日常生活にも使える色々なことが学べたのでよかった。
- ・やはり実際に目で見たり実際に体験して、起こる現象を確かめることは大切だと思います。
- ・今日はどんな実験をやるんだろうと毎回楽しみでした。他の授業には存在しない息抜きの時間があるのが本当によかったと思います。プリントが片面刷りのおかげで、裏面は復習として問題を解き直すときに便利でした。
- ・勉強の間の息抜きにちょうど良かったです。目の錯覚を使った絵や物理分野が入ったものなど、いろいろとあって飽きませんでした。あと、たまにお菓子が食べれて良かったです。

(生徒さんの感想は、どれも実験が楽しかったと書いています。また、「化学のある日が楽しみでした」とも。大変素晴らしい生徒さんからの評価です。「今日はどんな実験をやるんだろうと毎回楽しみでした」と感想にあり、授業の準備が大変だったと思いますが、生徒さんの感想を読むと報われますね。生徒さんの感想が高見沢さんの授業の原動力になっているようです。 エンドウ)

あとがき 12月に入り、今年も後残すところわずかとなりました。

先月のサークルニュースのあとがきで、家庭用の200Vの電源について、もう少し調べたいと書きましたが、その後調べる暇もなく、報告できる発展は今のところありません。このところ静電気とトランジスターの関係なども調べたいと思っていますが、なかなか手がかずにいます。

(エンドウ)

★ 今後の予定 ★
1月28日(土) 2月18日(土) 3月18日(土)